

# 新人発表会を終えて

日時：令和3年4月4日(日)  
場所：都市センターホテル 601号室



大塚 福長  
(神奈川県)



佐藤 博紀  
(東京都)



はじめまして、川崎で勤務医をしております大塚 福長と申します。昭和大学歯科理工学教室で大学院過程を経た後に、縁があり日本インプラント臨床研究会で勉強をさせていただいております。

新人全員が口頭発表を行うようにと通達があったので、コツコツと準備をしておりました。ちょうど症例発表に最適なケースがあったので、発表を意識して資料を集めながら、診療をしておりました。普段よりは写真は多目にとっていたような気がします。

スライドの作成は、サクサクと進みます。しかし、私、アドリブができません。苦手です。そのためパワーポイントの発表者ツールに、話す内容を全て書き起こしておきました。しかし想定外。Zoomで配信する関係で、使用する会場のPCでは準備した原稿をみることができません。焦りました。会場のPCを横目に自分のPCで原稿を読み上げるという、間抜けな格好となりました。自分で発表すると、岩野義弘先生をはじめとした、諸先生方の内容が、いかにわかりやすく纏まっているかに驚かされます。リグロスとエムドゲインの使い分けに悩んでいた自分にはタイムリーな内容でした。

今後とも精進していきますので、ご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

大塚 福長

初めまして、2019年研修会受講生の佐藤 博紀と申します。私は、大学卒業後10年目のDr.で、講習会に参加していた2019年に文京区で開業し、この7月で2年が経ちました。インプラント治療については、研修終了後から、新宿西口歯科医院で学ばせて頂き、このインプラント研究会とのご縁を頂きました。

講習会に参加して感じたことは、専門医取得のための実践的な内容が多いということでした。専門医申請に適した症例や必要な資料等の話から、インプラント治療で著名な先生方の講演など、日頃の臨床に直結する内容でした。

新人発表研修会では、インプラント治療を異なる環境で学んだ同期の先生が、どのような考えで治療に臨んでいるのかを見ることができ、とても勉強になりました。また、ベテランDr.の発表も聞くことができ、治療やその計画の質の高さに刺激を受けました。

私も下顎大臼歯部のインプラントの症例を発表させて頂きました。適切なレントゲンや口腔内写真などを揃えることが難しく、日頃から丁寧な資料採得を心がけることが必要と感じました。

これからも専門医取得にむけて、インプラント治療を学びたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

佐藤 博紀